

平成26年度  
事業報告

社会福祉法人千曲市社会福祉協議会

# 平成26年度千曲市社会福祉協議会事業報告

## 1. 平成26年度重点目標の取組みについて

### 1) 地域福祉活動計画の推進・評価

4年目となる地域福祉活動計画をもとに、事業の推進に努めました。随時、地域の意見を伺いながら、事業の評価を加え実施しました。その結果、10月から千曲市が実施する「千曲市成年後見制度普及啓発等推進事業」を受託し、成年後見制度の利用をより身近なものとする事業を開始しました。

### 2) 経営戦略計画の着実な推進

経営戦略計画推進委員会を4回開催し、進捗状況の点検・評価を行いました。計画により人員や経費の削減に努め、経営改善を図りました。

さらに、地域福祉推進事業や介護保険事業について「効率的かつ効果的に運営され、期待される効果が上がっているかどうか」など事業評価を行い、平成27年度予算に活かしました。

### 3) 介護保険事業所の適正な経営

各事業所の千曲市内における事業（活動）エリアが固定化しているため、長野市南部や坂城町まで営業エリアを拡大しました。

経営戦略計画で各事業所の目標値を設定し、毎月の所長会議で未達成な項目を分析・評価し目標値に近づくため職員の意識向上に努めました。具体的な活動として、介護技術研修等を開催し、職員の資質向上に努めるとともに、新規利用者獲得のため市内外の各居宅介護支援事業所への営業活動を積極的に行いました。

### 4) 支部社協活動の充実・強化

“人と人がつながり 支え合う地域づくり”を目標としてふれあいサロンの充実、一人暮らし高齢者が孤立することがないように、会食会の実施、児童への福祉体験や農業体験の実施、親子・世代間交流事業、障がいへの理解、支部活動への理解や周知、地域福祉活動への参加（普通会员、賛助会員、法人会員への加入促進活動）等、11支部ごとに、地域の課題や特徴を活かした福祉活動の支援を実施しました。

### 5) ボランティア・市民活動交流センターの充実

公的な福祉サービスだけでは対応できない生活課題にご近所の力で支え合える仕組みづくり、地域支え合い事業『つなぐ』を提案し、住民主体の地域活動の開発・その担い手となる人材の育成を支援しました。

また、ボランティア情報誌「かけはしちくま」を4月、6月、2月に全戸配布し、ボランティアや市民活動の情報を市民に届けました。

### 6) 障がい者福祉事業の更なる充実

平成27年4月から完全実施されるサービス利用計画、障がい者福祉サービスを利用するために必要とされるサービス利用計画には、専門員2名を配置し、福祉サービスの利用に支障のないよう、その充実を図りました。

## 2. 会務の運営

### (1) 理事会の開催

区分	開催日	出席者数	主要議案
第1回 理事会	5月28日	19人 (委任状提出2名含む)	平成25年度事業報告の認定について 平成25年度収入支出決算の認定について 会長及び副会長の選任について 顧問及び参与の選任について 定款の一部改正について
第2回 理事会	3月26日	17人 (委任状提出2名含む)	平成27年度事業計画(案)の議定について 平成27年度収入支出予算(案)の議定について 定款の一部改正について 経理規程の全部改正について

### (2) 評議員会の開催

区分	開催日	出席者数	主要議案
第1回 評議員会	5月28日	35人	平成25年度事業報告の承認について 平成25年度収入支出決算の承認について 定款の一部改正について 理事・監事の選任について
第2回 評議員会	3月26日	31人	平成27年度事業計画(案)の議定について 平成27年度収入支出予算(案)の議定について 定款の一部改正について

### (3) 外部監査の開催

5月15日 成澤税理士による外部監査  
決算監査に向けて平成25年度財産目録、貸借対照表及び収支計算書等を十分に精査・ご指導いただきました。

### (4) 監査会の開催

5月20日 福澤監事及び和田監事による決算監査  
平成25年度事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書等を関連する法令等に従った監査の結果、いずれも処理は適正にされており、かつ誤りがないことが認められました。

11月25日 松崎監事及び高松監事による中間監査  
平成26年度上半期の事業報告及び予算執行状況を監査いただきました。

### (5) 経営会議

毎月、社協運営の適正かつ効果的な執行を図るため、会長、事務局長及び課長との経営会議を開催し、社協運営の基本方針・重要施策等について協議及び決定をしました。

## (6) 正副会長会

必要に応じ、会長、副会長、事務局長及び関係職員との打ち合わせ会議を開催し、経営に関する事項等について協議しました。

区分	開催日	主たる協議事項
第1回	5月20日	平成26年度第1回理事会・評議員会の議題及び議事の進め方 平成26年度長野県共同募金会千曲市支会委員会議事について 平成25年度事業報告並びに決算について 法人運営に関する規程等の一部改正について
第2回	9月12日	経営状況について
第3回	1月30日	経営状況について 理事会・評議員会について 中長期計画の見直しについて（経営戦略計画・地域福祉活動計画） 指定管理指定替えについて 社会福祉大会について 人事について 支部長会議の内容について
第4回	3月11日	平成26年度収支見通しについて 平成27年度事業計画(案)及び一般会計収支予算(案)について 新会計基準の移行に向けて 定款の一部改正について 処務規程の一部改正について 理事会・評議員会の運営について 人事について

## (7) 課長会議

概ね4半期ごとに、社協運営の適正かつ効果的な執行を図るため、課長会議を開催し、社協運営の基本方針・重要施策等について協議及び決定をしました。

区分	開催日	主たる協議事項
第1回	6月16日	平成25年度決算、平成26年度事業計画・予算について 諸規程の一部改正について 各事業所における第1四半期（4～6月）の事業報告、課題等について
第2回	9月9日	経営状況について 会費納入状況について 職員研修会について ノー残業デイ、超過勤務命令について 労働災害防止について（4S・KY活動・腰痛予防について） 各事業所における第2四半期（7～9月）の事業報告、課題等について
第3回	12月15日	各事業所における第3四半期（10～12月）の事業報告、課題等について
第4回	3月9日	平成26年度収支見通しについて

		平成 27 年度事業計画・予算（案）について 新会計基準への移行に向けて 各事業所における第 4 四半期（1～3 月）の事業報告、課題等について
--	--	--

(8) 各種団体による後援依頼

後援依頼件数 17 件 (チャリティ映画上映会 1 件、福祉大会 2 件、チャリティコンサート 1 件、イベント 9 件、戦没者追悼式 1 件、障害者スポーツ大会 1 件、市民集会 1 件、シンポジウム 1 件)

### 3. 社協会費募集事業

(1) 社協会費納入状況

年度 項目	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
普通会費	17,941 世帯 16,147,600 円	18,062 世帯 16,255,600 円	18,083 世帯 16,275,600 円
	加入率 82.7%	加入率 82.8%	加入率 82.1%
法人会費	636 社 1,637,500 円	633 社 1,621,500 円	632 社 1,623,500 円
賛助会費	644 人 706,000 円	657 人 708,000 円	642 人 687,000 円
特別会費	10 人 210,000 円	10 人 140,000 円	14 人 160,000 円
会費実績合計額	18,701,100 円	18,725,100 円	18,746,100 円

◎景気低迷が続く中、普通会費、特別会費は支部役員の方々はじめ、市民の皆さまのご理解・ご協力により、増加いたしました。会費全体も増加傾向にあります。

苦情・意見では、「会費は強制なのか。」また「メリットはあるのか。」等意見が数件寄せられる中、今まで納入していなかったが、趣旨に賛同し納入していただける世帯や法人もありました。しかし、法人会費については年々減少し続けています。

また、納入業務を行っていただいている支部役員の方々も業務の大変さや、市民からの対応の厳しさ等を訴えられています。

今後も、納入業務の見直しや広報活動により一層力を入れ、地域住民への周知、ご理解をいただけるよう努めていきます。

## 4. 苦情解決システム

### (1) 苦情受付件数

苦情の内容	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
①職員の接遇（態度）に関するもの	10 件	10 件	11 件
②提供しているサービスに関するもの	13 件	7 件	11 件
③事故・被害・損害に関するもの	6 件	0 件	3 件
④事業所運営等に関するもの	0 件	0 件	0 件
⑤社協会費に関するもの	11 件	14 件	4 件
⑥その他	6 件	3 件	3 件
合 計	46 件	34 件	32 件

◎ 職員の接遇（態度）に関するものは「介護が雑で嫌な思いをした。」「言葉遣いや態度が悪い。」等、提供しているサービスに関するものは「訪問時間が違い困る。」「送迎時間を守ってほしい。」等、社協会費に関するものは「会費は強制なのか」「メリットはあるのか」等のご意見をいただきました。

また、児童センター（館）利用に関する調査（隔年実施）を行い、職員への温かい言葉やご指摘、施設改善等のご意見・ご要望をいただきました。

今後も意見・苦情を見落とさず真摯に受け止め、必要に応じ関係機関と連携を図りながら、今後の事業運営に活かしていきます。

（※児童センター（館）の利用に関する調査は件数に含まず。）

### (2) 苦情解決委員（第三者委員）

氏 名	住 所	電 話
柳澤 富子	稲荷山 2130 1-104	273-3733
落合 良晴	磯部 170-2	261-4177
須見 憲一	上山田温泉 4-27-7 リバティープラザ 1-A	275-4050

◎ 福祉サービスや児童センター（館）・介護保険事業所利用者が、サービスの内容や職員の対応に対する直接言いにくい苦情・意見・要望等を受付けるほか、意見を聞く、相談に応じるなど公平・中立な立場で、市民の皆様と事業所の橋渡しとなる活動を行います。平成 26 年度は、第三者委員に苦情（意見・要望を含む）を解決していただく案件はなく、委員会を開催しませんでした。（※苦情内容等を把握・分析し改善策を講じて行けるよう苦情処理対応会議を 12/5 に開催しました。）

## 5. 人事・労務管理

### (1) 職員数

	職員数の推移（年度末）				構 成 比		
	24 年度	25 年度	26 年度	増減	24 年度	25 年度	26 年度
正規職員	41 人	42 人	40 人	△2 人	23.3%	24.3%	24.1%
非正規職員*	135 人	131 人	126 人	△5 人	76.7%	75.7%	75.9%
合 計	176 人	173 人	166 人	△7 人	100%	100%	100%

\* 嘱託職員・臨時職員・パート職員等

正規職員数は、全体の 1/4 以下

(2) 離職率

	24年度		25年度		26年度	
	退職者数	離職率	退職者数	離職率	退職者数	離職率
正規職員	0人	0%	3人	7.1%	1人	0.6%
非正規職員	10人	7.4%	22人	16.8%	18人	10.8%
合計	10人	5.7%	25人	14.5%	19人	11.4%

\*退職者数には定年退職者は含まれない。全産業の平均離職率15.6%(医療・福祉は、15.2%)と同等。(平成25年雇用動向調査:厚労省)

(3) 職員研修

対象	研修内容	開催期日	出席者数
全職員	マナー・接遇研修 清泉女学院短期大学 専任講師 塚原 成幸氏 「笑顔は人をしあわせにする～ユーモアコミュニケーションのススメ～」	8/25	63人
施設長 衛生委員	メンタルヘルス研修 (福) ウェルフェアコスモス 施設長 夏目 宏明氏 「職場のメンタルヘルスについて」	9/9	30人
介護職員	介護職員研修会 学校法人石坂学園 長野社会福祉専門学校教務部長 鈴木 恵里子 氏 「介護士基本研修」	9/24・ 9/25	73人
交通安全 推進担当者	交通安全講習会 千曲警察署交通課 竹越 里沙氏 「道路交通法改正のポイントと事故発生の事例と対策 について」 ワークショップ 「安全な運転をするために」	9/26	20人
施設長	施設長研修 エイデル研究所 主任コンサルタント 村松 博 氏 「施設長としての人材育成方法」	10/24	23人
リーダー	リーダー研修 エイデル研究所 主任コンサルタント 村松 博 氏 「リーダーとしての人材育成方法」	10/24	22人
各事業所 1名以上	普通救命講習 千曲坂城消防本部 担当職員 「AED講習会」	11/12・ 11/14	33人
全職員	苦情対応研修 SZE代表 高橋 尚也氏 「苦情はありがたいもの! 苦情対応6つのステップを 学ぼう」	12/5	64人

◎今年度は全体研修を減らし、担当者向けの研修に重点を置き、より現場で活かせる研修かつ実践に最適と思われる講師を選び実施しました。

このほか、長野県社会福祉協議会、長野県福祉人材研修センターや全国社会福祉協議会、労働基準監督署などが実施する社外研修に、随時、職員が参加しました。

今後、職員の育成と能力開発を図るため、新たな研修プログラムの実施を考えていきます。

## 6. 施設の管理運営事業

千曲市から指定管理者の委任を受けて、各種社会福祉施設の良好な管理経営に努めて、福祉活動の推進を図りました。〈別紙1〉

### (1) 児童センター（館）管理運営状況

(単位：人)

児童館名	26年度					
	児童クラブ（登録）		児童クラブ（一時）		一般利用	
	延べ利用 児童数	1日平均利 用人数	延べ利用 児童数	1日平均 利用人数	延べ利用 児童数	1日平均 利用人数
埴生児童センター	18,463	63.5	1,176	4.7	1,521	5.5
稲荷山児童センター	10,675	36.8	1,011	3.8	8	0.03
屋代児童センター	11,138	38.4	876	3.4	41	0.1
八幡児童センター	10,629	36.7	574	2.1	68	0.2
東部児童センター	12,676	43.7	968	3.8	96	0.3
戸倉児童館	9,649	34.3	639	2.4	173	0.5
更級児童館	4,529	15.8	495	1.9	622	2.2
五加児童館	9,776	33.8	818	3.1	1,187	4.1
上山田児童館	—	—	132	0.4	2,877	8.0
合計	87,535		6,689		6,593	

◎少子化の影響により、各小学校への入学児童数が減少していますが、就労支援の放課後児童健全育成事業である児童クラブ（登録）児童数は埴生・稲荷山・屋代・八幡・東部で昨年度より増加が見られました。また、延べ利用児童数も10,705人増でした。

児童センター（館）運営では、「児童に健全な遊びを与え、健康を増進し、情操を豊かにする」ことを目的に多くの行事、催し物を企画・実施しました。また、平成27年度からは、放課後児童クラブ利用対象児童の拡大（6年生まで）や開館時間の変更（19時まで）になります。そこで、館の備品整備や職員体制などの見直しを行い、千曲市と連携を図りながら、ご家族・地域の方々のご理解・ご協力のもと、今後も安心安全の運営を心がけ、地域で愛される児童センター（館）を目指し運営していきます。



(2) 子育て支援利用状況 (単位：人)

子育て支援 利用者数 児童館名	26年度	
	延べ利用保護者・ 乳幼児数	1日平均利用人数
埴生児童センター	444	1.8
稲荷山児童センター	142	0.7
屋代児童センター	190	0.9
八幡児童センター	452	2.1
東部児童センター	575	2.6
戸倉児童館	358	1.8
更級児童館	764	3.8
五加児童館	1,179	5.0
上山田児童館	1,640	4.6
合計	5,744	

◎ 子育て支援として、保護者のニーズにあった行事等を未就園の乳幼児を持つ保護者の皆さんを対象に実施しました。延べ利用保護者・乳幼児数は昨年度より222人減でした。今後も子育て支援事業について、社協広報誌やホームページ等を活用し住民への広報にも併せて力を入れていきます。

(3) 老人コミュニティセンター利用状況 (単位：人)

	24年度		25年度		26年度	
	利用人数	貸与回数	利用人数	貸与回数	利用人数	貸与回数
戸倉老人コミ	1,738	184	1,952	193	1,812	210
更級老人コミ	321	15	340	15	279	15
五加老人コミ	1,565	197	1,457	177	889	105
合計	3,624	396	3,749	385	2,980	330

◎高齢者の趣味のサークルや身体障がい者団体、子育てサークルなどが利用されました。利用人数・貸与回数については、前年度より減少しました。減少した主な要因は五加老人コミュニティを利用されていた高齢者のクラブが活動中止になったことが挙げられます。今後は、更埴老人福祉センターが閉館したことに伴い、利用者増が見込まれます。社協広報誌やホームページ等を活用し住民への広報にも併せて力を入れていきます。

◎月平均 利用人数、貸与回数

戸倉 151.0人 17.5回

更級 23.3人 1.3回

五加 74.1人 8.8回

(4) 老人福祉センター施設利用状況

① 更埴老人福祉センター

平成26年4月1日～平成27年3月31日

月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開館日数	H25	21	21	20	22	22	19	22	20	18	19	19	20	243
	H26	21	20	21	22	21	20	22	18	19	19	19	22	244
入 浴	H25	906	830	835	879	767	745	869	814	675	729	696	670	9,415
	H26	800	727	770	875	801	764	743	662	588	626	670	771	8,797
和 室	H25	324	261	225	261	313	250	336	278	261	258	371	348	3,486
	H26	274	276	221	211	245	235	272	210	273	242	322	329	3,110
集会室	H25	754	648	744	841	623	351	968	780	580	649	744	624	8,306
	H26	715	469	762	758	1,009	636	881	827	598	602	1094	321	8,672
ロビー	H25	101	32	36	8	18	32	10	14	79	39	26	74	469
	H26	43	69	0	0	0	174	0	80	0	25	80	22	493
利用者計	H25	1,979	1,668	1,775	1,985	1,755	1,397	2,057	1,734	1,508	1,572	1,811	1,817	21,058
	H26	1,832	1,541	1,753	1,844	2,055	1,809	1,896	1,779	1,459	1,495	2,166	1,443	21,072

利用者数前年度比 100.1%

- 入浴者の癒しや楽しみ向上のため、毎月26日を「風呂の日」として天然温泉風呂を実施したほか、菖蒲、ラベンダー、かりん、リンゴ、ゆず風呂等季節を感じるイベント風呂を実施しました。
- 鯉のぼり、七夕祭りなど季節の飾り付けとクリスマスお楽しみ会、豆まき、花見などのイベントを行い利用者の交流を図りました。
- 「まねきの会」に依頼し、毎火曜日に“まねき萬市”を開催。衣類・野菜の販売と抹茶無料サービスを行い利用者の便宜等を図りました。
- 更埴老人福祉センター閉鎖関連(平成27年3月31日閉鎖)
  - ・大型チラシを設置 利用者に閉鎖の周知をするため、チラシ作成しロビーに設置
  - ・利用者等説明会 期 日：8月28日午前10時  
対象者：風呂の利用者、団体・グループの代表者など利用者の皆さん

② 八幡老人福祉センター

平成26年4月1日～平成27年3月31日

月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開館日数	H25	21	21	20	22	22	19	22	20	19	19	19	20	244
	H26	21	20	21	22	21	20	22	18	19	19	19	22	244
利用者数	H25	133	301	55	38	48	35	80	41	50	56	89	105	1,031
	H26	159	102	119	73	53	80	73	61	38	47	241	288	1,334

利用者数前年度比 129.4%

(5) 地域活動支援センター千曲市ピュアハートちくま

(ア) 目的

- ①利用者が安心して過ごせる日中の居場所と仲間との交流の場を提供し、心身の健康の回復を図る。
- ②家族、ボランティア等の支援協力を得ながら、利用者の社会との交流を促進する。
- ③地域住民との交流を図る機会をつくり、障がいの理解への促進と啓発をする。
- ④利用者の心身の状態を把握し、本人の思いに添った支援をする。

(イ) 利用者の状況 (単位：人)

利用者33人(登録者：30人、試験通所者：3人) ※試験通所中止者：1名

■利用状況

年度	25年度	26年度	増減
開所日数/日	240	241	1
登録者(試験通所者を含む)	31	33	2
延べ利用者数/人	1,625	1,639	14
平均利用者数/日	6.8	6.8	—
見学者	28	11	△17
相談件数	513	537	24

■地域別 (単位：人)

更埴地区	戸倉地区	上山田地区
17	7	9

■男女比 (単位：人)

男性	女性	合計
18	15	33

■年齢別 (単位：人)

年齢	利用者	男性	女性
10代	0	0	0
20代	4	3	1
30代	8	5	3
40代	6	4	2
50代	11	3	8
60代	4	3	1
平均年齢	45才	43.3才	46.8才

■障がい別

\*重複あり(単位：人)

障がい	人数
精神障がい者	32
知的障がい者	1
身体障がい者	1

## ○考察

今年度は市のデイケア廃止に伴い、職員体制を整えて障がい者の居場所としての機能を強化しました。その結果、見学者は11名、試験通所開始者は7名増となります。昨年度からの試験通所中の利用者を含め、試験通所を中止した利用者は5名いましたが、3月末日までの集計では本登録者が7名増となり、精神障がい者に特化した社会復帰の第一歩を支える地域活動支援センターとして活用されていると考えられます。

利用対象者が全員、安定しにくい精神障がい者であることから、無理することなく気楽に利用できる場の提供と相談できることのニーズが高く、相談件数は1日平均2.2件となります。

一方、登録者のうち3割程度の利用者が長期間利用の実態がない状況です。この点に関しては、本人の退所希望がない限り、千曲市ピュアハートちくまに所属していることの意味を重視し、登録利用者としておきたいと考えています。

## ○今後に向けて

地域において精神障がい者が利用できる地域活動支援センターとしての役割を明確にし、行政、医療、関係機関との連携をより密なものにして、地域に潜在する障がい者の掘り起しや地域全体で障がい者を支援できる体制を構築していきます。

受け入れている利用者に対しては、「来てよかった。また来たい。」と思ってもらえる視点で個別、継続的支援に努めていきます。

指定管理受託経営施設一覧表

【別紙 1】

◎高齢福祉関係

名 称	住 所
更埴老人福祉センター	千曲市杭瀬下二丁目 6 番地
八幡老人福祉センター	〃 大字八幡 3311
戸倉老人コミュニティセンター（戸倉児童館併設）	〃 戸倉 1972 - 2
更級老人コミュニティセンター（更級児童館併設）	〃 羽尾 1812
五加老人コミュニティセンター（五加児童館併設）	〃 千本柳 328
戸倉地域福祉センター	〃 磯部 1110-1
更埴デイサービスセンター	〃 杭瀬下 870
稲荷山デイサービスセンター	〃 稲荷山 2130

◎児童福祉関係

名 称	住 所
埴生児童センター	千曲市大字鑄物師屋 108-1
稲荷山児童センター	〃 桑原 1826-1
屋代児童センター	〃 屋代 2226-4
八幡児童センター	〃 八幡 3094-5
東部児童センター	〃 生萱 120
戸倉児童館	〃 戸倉 1972 - 2
更級児童館	〃 羽尾 1812
五加児童館	〃 千本柳 328
上山田児童館	〃 上山田温泉 4-29-1

◎障害福祉関係

名 称	住 所
地域活動支援センター千曲市ピュアハートちくま	千曲市上山田温泉四丁目 5 番地 1

## 7. 地域福祉推進事業

### ○連絡会議、地域福祉事業等の開催

#### (1) 社協支部長会の開催

第1回5月9日 第2回6月10日 第3回9月12日 第4回1月30日

主な協議事項

- ・正副支部長の選任・社協理事、評議員の選任・社協会費・共同募金運動等

#### (2) 第63回長野県社会福祉大会

9月10日(水) 茅野市 参加者 22人(理事、支部長)

#### (3) 家族介護者交流事業(財源:市委託料、支部配分金)

在宅介護者の交流や心身のリフレッシュを図るため各11支部で実施。

#### (4) ふれあい訪問事業(財源:共同募金)

75歳以上の一人暮らし高齢者、80歳以上の高齢者のみ世帯、障がい者のみ世帯等を対象

・対象者	食事券配布	(計 3,773人)	品物配布	(計 4,632人)
	更埴地区	1,784人	更埴地区	3,044人
	戸倉地区	983人	戸倉地区	1,256人
	上山田地区	1,006人	上山田地区	332人

- ・配布協力:各地区の民生児童委員とボランティア

### ○生活支援、相談事業

#### (1) 心配ごと相談所(財源:会費)月3日(心配ごと相談1/月、司法書士相談2/月)

心配ごと相談件数35件

(ア) 月1回、ふれあい福祉センター更埴、千曲市ふれあい福祉センターを会場に相談員6人が2人交代で実施 時間帯:午後1時30分~4時

(イ) 主な相談内容 家族問題、近隣トラブル、離婚等

(ウ) 委員会の開催 4月22日、3月20日

- ・事業報告と事業計画
- ・県社協研修1月23日 「生活困窮者自立促進支援モデル事業の取り組み」

法律相談件数115件 予約制1人45分 開設日12日 長野司法書士会との契約

(ア) 月2回(ふれあい福祉センター更埴、千曲市ふれあい福祉センターを会場)

- ・時間帯=午後1時30分~4時30分

(イ) 主な相談内容 遺言、相続等

社協窓口相談件数94件

(2) 結婚相談所(財源：会費)

毎月2回 更埴文化会館、戸倉創造館を会場に相談員10名が2名ごと交代で実施

(ア) 市内結婚相談員連絡会議 12回(内3回坂城町合同)

(イ) イベントの開催

- ・7月12日 婚活力アップ講座(講師：花岡結婚相談所長若井順子氏)参加者88人
- ・8月23日 出会いイベント(安曇野市)男性25人女性21人
- ・12月20日 クリスマスパティー(長野市)男性34人女性34人
- ・2月28日 スプリングパーティー(笹屋ホテル)男性30人女性25人
- ・4月20日、2月7日 恋活イベント(戸倉体育館)男性6人女性6人

(ウ) 相談活動状況(千曲市結婚相談所内)

(人)

区分	男性	女性	計
新規登録者数	33	20	52
登録者数	57	35	92
平均年齢	40.6歳	35.7歳	38.2歳
再来相談数	181	102	283
説明・申請書渡し	26	21	47
紹介希望者数	121	96	217

(オ) 紹介・見合い数(坂城町の結婚相談所登録者含む)

区分	人数
紹介数	217
見合い数	62

(カ) 成婚数 8組

(3) 日常生活自立支援事業(財源：県社協委託料)

高齢者、知的障がい者、精神障がい者で判断能力が不十分である方々への支援  
(生活支援員10人雇用)

(ア) 新規契約者及び解約者数

- ・新規契約者：高齢者8人 知的障がい者4人 精神障がい者3人 計15人
- ・解約者：高齢者4人 知的障がい者1人 精神障がい者1人 その他1人 計7人

(イ) 現契約者数

- ・高齢者40人 ・知的障がい者15人 ・精神障がい者5人 計60人

(ウ) 相談援助件数

(件)

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
1,924	1,326	251	28	3,529

(4) 金銭管理・財産保全サービス(社協単独)

- (ア) 現契約者総数 ・高齢者1人 ・身体障がい者1人 計2人
- (イ) 相談援助件数 ・高齢者98件 ・身体障がい者23件 計121件
- ・生活支援員連絡会議 10月29日、3月24日

- (5) 善意銀行(財源：地域福祉振興基金益金)  
 災害援護事業  
 (ア) 住宅火災見舞 2 件  
 (イ) 預託物品 市民より物品の預託を受け希望者へ配分した。  
 ・主な物品・・・フェイスタオル、車椅子、うるち米、改良ねまき、書き損じはがき等  
 ・預託先・・・生活困窮者、デイサービスセンター、社協介護保険事業所、ボランティアグループ等
- (6) 寄付金(地域福祉振興基金へ積立)  
 22 件 計 403,613 円
- (7) 生活福祉資金貸付事業(財源：県社協委託金) 貸付件数 11 件  
 ・種類：総合支援資金 1 件・・・ 330,000 円  
           緊急小口資金 6 件・・・ 535,000 円  
           教育支援資金 4 件・・・ 2,954,000 円
- (8) 助けあい資金貸付事業(社協助けあい資金基金：上限 3 万円)  
 ・貸付件数 33 件 808,000 円  
 ・償還件数 137 件 958,000 円
- (9) 貸付資金相談件数(社協の窓口、電話での相談受付件数)  
 ・281 件
- (10) 成年後見制度普及啓発等推進事業(財源：市受託金 10 月～)  
 判断能力が十分でない認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、その権利を擁護するため、成年後見制度の利用推進と、制度の普及啓発の推進を図る。  
 (ア) 相談件数  
       ・新規 18 件 ・継続 79 件  
 (イ) 対象者別：  
       ・認知症高齢者 70 件 ・知的障がい者 4 件 ・精神障がい者 20 件  
       ・その他(意識障がい等) 3 件  
 (ウ) 相談内容  
       ・制度説明 20 件 ・申立手続き支援 35 件 ・後見候補調整 17 件  
       ・状況調査 19 件 ・その他 6 件  
 (エ) 福祉サービス利用援助事業運営委員会(委員 6 人 2 回開催)  
       ・12 月 18 日 第 1 回運営委員会：委員委嘱、委員会、事業等取り組みについて  
       ・3 月 5 日 第 2 回運営委員会：・相談状況報告・困難ケース検討  
       ・成年後見研修会：10 月 29 日 戸倉創造館 参加者 101 人



## ○福祉関係団体への活動支援

(1) 福祉活動団体活動助成(財源:共募)〔助成額計2,633,000円〕

- (ア) 老人福祉活動・・・ 1団体 100,000円
- (イ) 障害児・者福祉活動・・・ 11団体 768,000円
- (ウ) 児童・青少年福祉活動・ 14団体 680,000円
- (エ) 育成・援護・組織化活動・33団体 1,085,000円

(2) ふれあい活動助成(いきいきサロン、子育てサロンへの助成)(財源:共募)

89団体1,927,900円

サロン登録(高齢者関係88団体、子育て支援関係19団体)

(3) 社協各支部と千曲市身体障害者福祉協会、千曲市遺族会事務局への支援、事業協力。

## 8. ボランティア・市民活動交流センター運営事業(財源:会費)

(1) ボランティア・市民活動交流センター運営

(ア) 運営委員会の開催・・・開催数2回

- ・6月3日(火)事業内容の検討、福祉活動事業助成金の協議
- ・2月10日(火)事業報告、新規事業の協議

(イ) 機材の管理・貸出・・・96件

プロジェクター、スクリーン、DVD再生機、点字器、パネルシアター、輪投げ他

(ウ) ボランティア登録者

男性466人 女性1,546人 合計2,012人 142団体

(エ) ボランティア保険加入数

保険の種類	加入者数
活動Aプラン	2,219人
活動Bプラン	77人
天災Aプラン	5人
天災Bプラン	0人
行事A1プラン	11,170人
福祉サービス総合補償Bプラン	12,960人
福祉サービス総合補償Cプラン	427人

(オ) センター利用者延数 689人

(カ) 相談連絡調整延数 1,812人

(2) 交流、活動の促進

第5回千曲市ふれあい広場の開催 8月31日(日) 西船山公園一帯

実行委員60団体 98人 来場者数 13,000人

実行委員会5回 役員会4回

(3) 情報提供

社協だより、支部情報誌、かけはしちくま、社協ホームページ、信濃毎日新聞、屋代有線等

#### (4) ボランティア養成講座等

- (ア) 福祉施設ボランティア体験（サマーチャレンジボランティア）  
体験期間 7月26日（金）～8月30日（金） 参加者209人
- (イ) いきいきサロンリーダー研修 2回 内容レクリエーション研修
  - ・6月17日（火）更埴老人福祉センター 参加者38人
  - ・6月25日（水）千曲市ふれあい福祉センター 参加者31人
- (ウ) 千曲市総合防災訓練参加（災害救援ボランティアセンター設置訓練）  
9月7日（日）埴生小
- (エ) 木工福祉ボランティア養成講座  
2月6日、20日（金）参加者10人

#### (5) 福祉教育の推進

- (ア) 福祉教育担当者連絡会議 5月16日（金）千曲市ふれあい福祉センター  
市内小学校9校、中学校5校、高校2校、養護学校1校  
福祉活動報告、福祉活動事業助成金説明、ふれあい広場参加協力
- (イ) 福祉体験等
  - ・車椅子ツインバスケット体験 10月17日（金）戸倉児童館  
11月11日（火）五加児童館
  - ・福祉講演会 11月5日（水）屋代小学校

#### (6) 災害救援ボランティアセンター立上げ訓練及び福祉避難室 参加者83人

- 11月22日（土）更埴老人福祉センター  
講師：NPO法人ローカルコミュニティー 高田克彦 氏  
千曲市危機管理防災課 係長 荒井茂夫 氏

#### (7) 地域支え合い事業 “つなぐ”

地域通貨券（チクマ）を使用した、日常の困りごとへの支援を、近隣同士の助け合い、人間関係の構築に向けた目的で進めています。

この地域通貨券は、千曲商工会議所、戸倉上山田商工会（商工団体）の加盟店の協力店で利用できる仕組みです。

平成26年度はその準備に向け、地域の民生児童委員のご協力による利用者アンケート調査の実施しました。更には利用者の申し込みを募ることについてもご協力いただきました。

一方支援者である“助っ人会員”の募集は、社協支部、老人クラブ、福祉団体、ボランティア団体への協力依頼を呼びかけました。

地域通貨券の利用にあたっては、商工団体や加盟店への協力依頼の実施等事業周知に向け準備をしました。

#### (8) 白馬村災害ボランティアセンター運営支援（長野県神城断層地震平成26年11月22日）

2日間（12月8日（月）、12月9日（火））長野県内社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づき白馬村災害ボランティアセンター（白馬村多目的研修集会施設 白馬村役場隣）に職員5人を派遣し、ボランティアの受け付け、現場の情報確認、ボランティア活動記録や他団体との調整等その運営を支援しました。

## 9. 社協相談支援事業

目的：障がい者の自立した生活を支えるため、抱える課題の相談や解決を図り、また、適切な福祉サービスの利用に向けた計画書を作成します。

### (1) 相談支援実績

<相談支援の利用者 延人数> \* 基本相談者数と計画相談者数の合計 (人)

障がい者				難病者	家族	その他	合計
精神	知的	身体	発達				
91	8	34	1	9	5	3	151

<支援方法 延件数> (人)

支援方法	訪問	来所	電話	合計
相談件数	217	15	74	306

<支援内容> 合計151件

内訳

支援内容	人数	精神障がい者	人数
福祉サービスの利用	122	日常生活手段	2
障がいや病状	4	就労	2
不安の解消や情緒安定	9	社会参加や余暇活動	2
家族関係や人間関係	8	男女の恋愛	2

<契約者数41人>

計画相談状況 延件数

月別内訳

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	
サービス利用支援	0	1	1	3	5	4	14	
継続サービス支援	0	0	1	1	2	4	8	
月別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	合計
サービス利用支援	2	4	5	4	2	11	28	42
継続サービス支援	6	6	7	7	9	6	41	49

### (2) 関係機関との連携

・千曲・坂城地域自立支援協議会・・・運営委員会、部会（相談支援部会、子ども部会）毎月参加

## 10. 介護保険事業

千曲市社会福祉協議会では、介護保険指定事業者として、居宅介護支援事業所を2ヶ所、訪問介護事業所を2ヶ所、通所介護事業所を3ヶ所、訪問入浴事業所を運営しています。

加えて、地域密着型（市の指定）事業所として、戸上デイサービスセンター（認知対応型）と戸倉短期入所事業所を運営しています。

また、平成23年4月より千曲市からの受託により、介護予防の支援計画の作成と相談業務を主とする「戸倉上山田地域包括支援センター」を運営しています。

### 社会福祉協議会 介護保険指定事業所一覧

	事業所名	種別	所在地	備考
1	社協 居宅介護支援事業所	居宅支援	千曲市大字杭瀬下 13-1	
2	戸倉上山田居宅介護支援事業所	居宅支援	千曲市大字磯部 1110-1	戸倉地域福祉センター内
3	社協ヘルパーステーション	訪問介護	千曲市大字磯部 1110-1	戸倉地域福祉センター内
4	更埴ヘルパーセンター	訪問介護	千曲市大字杭瀬下 13-1	
5	更埴デイサービスセンター	通所介護	千曲市大字杭瀬下 870	
6	稲荷山デイサービスセンター	通所介護	千曲市大字稲荷山 2130	
7	戸上デイサービスセンター	通所介護	千曲市大字磯部 1110-1	戸倉地域福祉センター内
8	戸上デイ（認知対応型）	通所介護	千曲市大字磯部 1110-1	戸倉地域福祉センター内
9	戸上訪問入浴ステーション	訪問入浴	千曲市大字磯部 1110-1	戸倉地域福祉センター内
10	戸倉短期入所事業所	短期入所	千曲市大字磯部 1110-1	戸倉地域福祉センター内
11	戸倉上山田地域包括支援センター	包括支援	千曲市上山田温泉 4-5-1	ふれあい福祉センター内

### [総括]

介護保険法は3年毎に見直しが行われ、第5期計画（平成24年度～26年度）において介護報酬が大幅に見直しされました。

特に、訪問介護のサービス提供時間の短縮化と時間区分の細分化、通所介護事業所の利用時間区分の変更等により報酬単価も実質的に減額となりました。

第5期の最終年度となる26年度においても、利用者の伸び悩み、自然減等の事由により厳しい運営状況となりました。

介護保険事業所の利用にあたり、支援計画（ケアプラン）の作成を行う社協居宅介護支援事業所では、支援計画（プラン）の新規作成の依頼に応えるなかで、前年度対比で7.5%の増収となりましたが、戸倉上山田居宅介護支援事業所では、利用者の自然減等の理由により2.4%の減収となりました。

訪問介護事業所においては、特に減収が顕著であり、社協ヘルパーステーションにおいては前年度対比で23%の減収、更埴ヘルパーセンターにおいても、16.5%の減収となりました。

訪問介護事業所の利用者は、ひとり暮らし、高齢者世帯が多く、疾病等の理由による入院や家族の介護力の低下等の諸事情により施設入所に移行される方が多いことがその要因となります。

一方で、障がい者に対する訪問介護については、前年度対比で228.6%の大幅な増収となりました。その理由として、障害者手帳所持者の方が65歳を迎え、介護保険制度の利用対象者に移行することから、介護保険を優先利用するなかで、利用限度額の超過分を障害居宅介護サービスの枠でサービスを利用される方が多くなったことや、市内の障害者居宅サービス事業者の撤退により、その利用者が訪問介護事業所に振り分けられたことにより増加したものです。

通所介護事業所においては、更埴デイサービスセンターが、前年度対比で2.8%、稲荷山デイサービスセンターで4.3%、戸上デイサービスセンターで1.6%とそれぞれ増収となり、戸上デイサービスセンター（認知対応型）においても、10.8%の増収となりました。

更埴、稲荷山デイサービスセンターの利用者については、いずれも要介護3・4・5の中重度の利用者の占める割合が高い（更埴デイで50.5%、稲荷山デイで40.6%）ため、入院や施設入所等への移行、更には新規参入事業所の参入により苦戦を強いられています。

戸上デイサービスセンターにおいては、要支援から要介護5までの利用者が均一化していることと、近隣の温泉施設からの引湯により、温泉入浴が楽しめるという利点を生かしながら更なる利用者の増を図っています。

地域密着型の戸上デイサービスセンター（認知対応型）でも、第5期の介護報酬の改定を機に利用者も激減、報酬単価も通常の通所介護事業所より高めの設定となっているうえ、更に単価が上がったことから、利用者が通常のデイサービスを選択される傾向となり、大幅な減収となりましたが、平成26年度においては、サービス内容に変更に努めた中で、前年度比較では増収となりました。

訪問入浴ステーションでは、事業の特質上、要介護（3・4・5）の中重度の利用者の比率が高く92.9%を占めています。利用回数は対前年度比率で4.0%の減、報酬も3.2%の減収となりました。

地域密着型である戸倉短期入所事業所は、定員が6名と小規模な事業所であるが、同じく併設する認知症デイと通常型の戸上デイサービスセンターの利便を活かし満床に近い稼働率を維持していますが、対前年度比2.6%減収となりました。

戸倉上山田地域包括支援センターは、千曲市からの受託事業として、23年4月から開始。看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員の専門職を配置し、介護予防の支援計画（プラン）の作成と相談業務が主となります。

支援計画（プラン）の作成者数は、対前年比で56件（2.9%）の増、報酬も2.9%の増収となりました。

一方の相談業務については、前年度対比で、相談延受付件数が3,694件で前年度対比で1,000件（21.4%）の減となりました。

## 1.1. 事業所別概要

### (1) 居宅介護支援事業所（2事業所）

事業所	社会福祉協議会居宅介護支援事業所					戸倉上山田居宅介護支援事業所				
	26年度		25年度		前年度 比較	26年度		25年度		前年度 比較
区分	人数	比率	人数	比率		人数	比率	人数	比率	
要支援1	5	0.3	6	0.5	△ 1	15	1.1	28	2.1	△ 13
要支援2	74	4.9	43	3.3	31	52	3.8	31	2.3	21
要介護1	491	33.0	417	31.6	74	582	42.9	516	38.2	66
要介護2	306	20.3	312	23.7	△ 6	259	19.1	231	17.0	28
要介護3	225	15.0	183	13.8	42	219	16.1	219	16.2	0
要介護4	240	16.0	230	17.4	10	112	8.3	197	14.6	△ 80
要介護5	124	8.3	84	6.4	40	107	7.9	128	9.5	△ 21
その他	33	2.2	44	3.3	△ 11	11	0.8	2	0.1	9
計	1,498	100.0	1,319	100.0	179	1,357	100.0	1,352	100.0	5

#### [概要]

##### ①社会福祉協議会居宅介護支援事業所

26年度 プラン作成者 1,498件（前年度比179件 12%の増）となり、介護度別のケアプラン作成者では、認定申請中の者で33件（全体の2.2%/前年度比44件25.0%の減）、介護予防の対象者である要支援1・2では、79件（全体の5.2%/前年度比30件38.0%の増）、要介護1・2では797件（全体の53.3%/前年度比68件8.6%の増）、中重度となる要介護3・4・5では、589件（全体の39.3%/前年度比345件15.7%の増）となりました。

##### ②戸倉上山田居宅介護支援事業所

26年度 プラン作成者 1,357件（前年度比5件 0.4%の増）となり、介護度別のケアプラン作成者では、認定申請中の者で11件（全体の0.8%/前年度比9件81.9%の増）、介護予防の対象者である要支援1・2では、67件（全体の4.9%/前年度比8件12.0%の増）、要介護1・2では841件（全体の62.0%/前年度比94件11.2%の増）、中重度となる要介護3・4・5では、438件（全体の32.3%/前年度比106件19.5%の減）となりました。

(2) 訪問介護事業所 (2事業所)

① 実利用者数 (介護度別・・2事業所別)

事業所	社協ヘルパーステーション					更埴ヘルパーセンター				
	26年度		25年度		前年度 比較	26年度		25年度		前年度 比較
	人数	比率	人数	比率		人数	比率	人数	比率	
要支援1	73	16.4	75	14.4	△2	25	5.9	29	6.4	△4
要支援2	88	19.6	102	19.6	△14	100	23.5	87	19.1	13
要介護1	110	24.6	139	26.7	△29	38	9.0	57	12.5	△19
要介護2	32	7.2	52	10.0	△20	32	7.5	33	7.3	△1
要介護3	35	7.8	18	3.5	17	69	16.3	49	10.8	20
要介護4	60	13.4	59	11.3	1	77	18.2	109	23.9	△32
要介護5	41	9.2	71	13.7	△30	80	18.9	87	19.1	△7
その他	8	1.8	4	0.8	4	3	0.7	4	0.9	△1
計	447	100.0	520	100.0	△73	424	100.0	455	100.0	△31

②介護度別 延利用者数 (利用回数・・2事業所別)

事業所	社協ヘルパーステーション					更埴ヘルパーセンター				
	26年度		25年度		前年度 比較	26年度		25年度		前年度 比較
	人数	比率	人数	比率		人数	比率	人数	比率	
要支援1	319	5.6	283	3.8	36	139	1.7	156	1.5	△17
要支援2	394	7.0	485	6.6	△91	512	6.3	445	4.4	67
要介護1	1,267	22.4	1,700	23.1	△433	292	3.6	453	4.5	△161
要介護2	510	9.0	688	9.4	△178	356	4.4	563	5.6	△207
要介護3	628	11.0	361	4.9	267	1,413	17.5	1,485	14.8	△72
要介護4	1,674	29.7	1,905	25.9	△231	3,129	38.7	4,167	41.4	△1,038
要介護5	828	14.6	1,871	25.4	△1,043	2,212	27.4	2,717	27.0	△505
その他	41	0.7	65	0.9	△21	40	0.4	77	0.8	△37
計	5,661	100.0	7,358	100.0	△1,694	8,093	100.0	10,063	100.0	△1,970

③ サービス別延利用回数 (延利用回数・・2事業所別)

事業所	社協ヘルパーステーション					更埴ヘルパーセンター				
	26年度		25年度		前年度 比較	26年度		25年度		前年度 比較
	人数	比率	人数	比率		人数	比率	人数	比率	
介護予防	739	13.1	769	10.5	△30	587	7.3	555	5.5	32
身体介護	3,950	69.8	5,053	68.7	△1,103	6,158	76.2	7,443	74.0	△1,285
身体生活	40	0.7	337	4.6	△297	934	11.5	1,128	11.2	△194
生活援助	932	16.4	1,199	16.2	△267	414	5.0	937	9.3	△523
計	5,661	100.0	7,358	100.0	△1,697	8,093	100.0	10,063	100.0	△1,970

④サービス別延利用回数（2事業所合算）

年 度	26年度		25年度		前年度比較
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	
介護予防	1,326	9.7	1,324	7.6	2
身体介護	10,068	73.6	12,496	71.7	△2,428
身体生活	964	7.0	1,465	8.4	△ 501
生活援助	1,336	9.7	2,136	12.3	△ 800
計	13,694	100.0	17,421	100.0	△3,727

[概 要]

①社協ヘルパーステーション

実利用者数は、447人で月平均では、37.2人（前年度比6人14.1%の減）となりました。

介護度別延利用者（回）数では、介護予防の対象者である要支援1・2では713人（全体の12.6%/前年度比55人7.2%の減）、要介護1・2では、1,777人（全体の41.4%/前年度比611人25.6%の減）、要介護3・4・5では、3,130人（全体の30.4%/前年度比1,007人24.4%の減）となりました。

特に、要介護5においては、前年度比で、1,043人（55.8%）の減となりました。

サービス別延べ利用回数では、介護予防が739回（全体の13.1%/前年度比30回4%の減）、身体介護は、3,950回（全体の69.8%/前年度比1,103回21.9%の減）  
身体介護と生活援助の複合型である身体生活は、40回（全体の0.7%/前年度比297回88.2%の減）、生活援助では、937回（全体の16.4%/前年度比267回22.3%の減）となりました。

②更埴ヘルパーセンター

実利用者数は、424人で、月平均では35.3人（前年度比2.6人6.9%の減）となりました。

介護度別延利用者（回）数では、介護予防の対象者である要支援1・2では651人（全体の8.0%/前年度比50人7.7%の増）、要介護1・2では、648人（全体の8.0%/前年度比368人36.3%の減）、要介護3・4・5では、6,754人（全体の83.6%/前年度比1,615人19.3%の減）となりました。

特に、要介護4においては、前年度比で、505人（27.0%）の減となりました。

サービス別延べ利用回数では、介護予防が587回（全体の7.3%/前年度比32回5.5%の増）、身体介護は、6,158回（全体の76.2%/前年度比1,285回17.3%の減）、  
身体介護と生活援助の複合型である身体生活は934回（全体の11.5%/前年度比194回17.2%の減）、生活援助では、414回（全体の5.0%/前年度比523回55.9%の減）となりました。

\* 上記、①と②の両事業所の合算によるサービス別延べ利用回数においては、介護予防の対象となる要支援が全体で1,326回で前年度比で2回（0.2%）の増となったものの、身体介護が全体で10,068回で前年度比で2,428回（19.5%）の減となり、身体介護と生活援助の複合型である身体生活においても、全体で964回で前年度比501回（34.2%）の減となり、生活援助においても1,336回で前年度比800回（37.5%）の減となりました。



⑤ 障がい者に対する訪問介護状況

⑤-1 障がい別実利用者数

年 度	26年度		25年度	
	人 数	月平均	人数	月平均
身体障がい	136	11.0	73	6.0
知的障がい	36	3.0	26	2.2
精神障がい	54	4.5	51	4.3
計	226	6.1	150	4.1

⑤-2 サービス別延利用回数

年 度	26年度					25年度				
	身体 介護	同行 援護	通院 介助	家事 援助	計	身体 介護	同行 援護	通院 介助	家事 援助	計
身体障がい	926	98	3	89	1,116	265	50	5	83	403
知的障がい	0	0	0	336	336	0	0	0	179	179
精神障がい	0	0	0	208	208	0	0	0	175	175
計	926	98	3	633	1,660	265	50	5	437	757

\*用語説明

同行援護・・・移動時及びそれに伴う外出先において必要な視覚的情報の支援(代筆・代読を含む)を行います。必要に応じ排せつ・食事等の介護その他外出する際に必要となる援助を行います。(身体介護を含めた場合)

[概 要]

障がい者に対するヘルパーによる支援では、実利用者が226人で月平均では18.5人(前年度比で6.3人 32.5%の増)となりました。

障がい別実利用者数では、身体、知的、精神の順となり、サービス別延利用回数においては、身体障がい者の方に対する身体介護が926回(前年度比 661回 71.4%の増)となり同行援護においては、98回(前年度比 48回 49.0%の増)となりました。

通院介助については、3件(前年度比 2回 40.0%の減)となり、家事援助については、89回(前年度比 6回 6.8%の増)となりました。

知的障がい者、精神障がい者の方に対する支援ではすべてが家事援助となり、前者では336回、後者では208回となり、いずれも前年度比では157回(46.8%)、33回(15.9%)の増となりました。全体での延利用回数は1,660回となり、前年度の延利用回数757回を大きく上回りました。(回数で903回の増、比率では219.2%となりました。)

(3) 通所介護事業所(通常3・認知デイ1)

(ア) 更埴デイサービスセンター(通常規模型)

① 実利用者数

	26年度	25年度	前年度比較
実利用者	766	706	60
月平均	63.8	58.8	5

②要介護度別実利用者数

年 度	26年度		25年度		前年度比較
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	
要支援1	35	4.5	7	1.0	28
要支援2	111	14.5	94	13.3	17
要介護1	162	21.1	112	15.9	50
要介護2	135	17.6	145	20.5	△10
要介護3	87	11.4	96	13.6	△9
要介護4	117	15.3	127	18.0	△10
要介護5	110	14.4	117	16.6	△7
その他	9	1.2	8	1.1	1
計	766	100.0	706	100.0	60

③要介護度別延利用者数

年 度	26年度		25年度		前年度比較
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	
要支援1	131	2.1	28	0.5	103
要支援2	700	10.7	631	9.9	69
要介護1	1,008	15.5	619	9.7	389
要介護2	1,332	20.4	1,490	23.4	△158
要介護3	1,002	15.4	1,169	18.4	△167
要介護4	1,215	18.6	1,244	19.6	△29
要介護5	1,078	16.5	1,126	17.8	△48
その他	55	0.8	47	0.7	8
計	6,521	100.0	6,354	100.0	167

[概要] 更埴デイサービスセンター

実利用者数は766人で月平均では63.8人(前年度比5人 7.9%の増)となりました。延利用者数では、6,521人(前年度比167人 2.6%の増)となりました。

介護度別延利用者(回)数では、介護予防の対象である要支援1・2では831回(前年度比172回 21.7%の増)、要介護1・2では2,340回(前年度比231回9.9%の増)、要介護3・4・5では、3,295回(前年度比244回 6.9%の減)となりました。

利用定員30人/日のところ平均利用者数は21.1人/日

(イ) 稲荷山デイサービスセンター(通常規模型)

①実利用者数

	26年度	25年度	比較
実利用者	843	814	29
月平均	70.2	67.8	2.4

②要介護度別実利用者数

年 度	26年度		25年度		前年度 比 較
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	
要支援1	10	1.2	28	3.5	△ 18
要支援2	98	11.6	83	10.2	15
要介護1	272	32.4	251	30.8	21
要介護2	145	17.2	139	17.1	6
要介護3	127	15.1	49	6.0	78
要介護4	102	12.0	148	18.2	△ 46
要介護5	79	9.4	111	13.6	△ 32
その他	10	1.1	5	0.6	5
計	843	100.0	814	100.0	29

③要介護度別延利用者数

年 度	26年度		25年度		前年度 比 較
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	
要支援1	70	0.9	172	2.3	△ 102
要支援2	788	10.0	545	7.5	243
要介護1	2,422	30.8	2,253	30.8	169
要介護2	1,323	16.8	1,073	14.7	250
要介護3	1,258	16.0	536	7.3	722
要介護4	1,081	13.7	1,620	22.2	△ 539
要介護5	855	10.9	1,093	15.0	△ 238
その他	68	0.9	12	0.2	56
計	7,865	100.0	7,304	100.0	561

[概 要] 稲荷山デイサービスセンター

実利用者数は843人で月平均では70.2人（前年度比29人 3.5%の増）となりました。

延利用者数では、7,865人（前年度比561人 7.2%の増）となりました。

介護度別延利用者（回）数では、介護予防の対象である要支援1・2では858回（前年度比141回 16.5%の増）、要介護1・2では3,745回（前年度比383回、10.3%の増）、要介護3・4・5では、3,194回（前年度比55回 1.7%の減）となりました。

利用定員30人/日のところ平均利用者数は25.4人/日

(ウ) 戸上デイサービスセンター（通常規模型）

①実利用者数

	26年度	25年度	前年度比較
実利用者	1,507	1,470	37
月平均	125.5	122.5	3

②要介護度別利用者数

年 度 区 分	2 6 年 度		2 5 年 度		前年度 比 較
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	
要支援 1	211	14.0	162	11.0	49
要支援 2	312	20.7	287	19.5	25
要介護 1	440	29.2	380	25.9	60
要介護 2	202	13.4	236	16.1	△ 34
要介護 3	153	10.2	181	12.3	△ 28
要介護 4	97	6.4	110	7.5	△ 13
要介護 5	90	6.0	108	7.3	△ 18
その他	2	0.1	6	0.4	△ 4
計	1,507	100.0	1,470	100.0	37

③要介護度別延利用者数

年 度 区 分	2 6 年 度		2 5 年 度		前年度 比 較
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	
要支援 1	880	9.0	605	6.5	275
要支援 2	1,743	17.9	1,430	15.3	313
要介護 1	2,979	30.5	2,685	28.7	294
要介護 2	1,561	16.0	1,899	20.3	△ 338
要介護 3	1,212	12.4	1,249	13.4	△ 37
要介護 4	751	7.7	841	9.0	△ 90
要介護 5	614	6.3	600	6.4	14
その他	12	0.2	40	0.4	△ 28
計	9,752	100.0	9,349	100.0	403

[概 要] 戸上デイサービスセンター

実利用者数は、1,507人で月平均では125.5人(前年度比3人2.5%の増)となりました。

延利用者数では、9,752人(前年度比403人4.2%の増)となりました。

介護度別延利用者(回)数では、介護予防の対象である要支援1・2では、2,623回(前年度比588回22.5%の増)となり、要介護1・2では4,540回(前年度比44回1.0%の減)、要介護3・4・5では2,577回(前年度比113回4.3%の減)となりました。

利用定員40人/日のところ平均利用者数は31.5人/日

(エ) 戸上デイサービスセンター(地域密着型 認知症対応型)

①実利用者数

	2 6 年 度	2 5 年 度	前年度比較
実利用者	126	119	7
月平均	10.5	9.9	0.6

②要介護度別実利用者数

年 度 区 分	2 6 年 度		2 5 年 度		前年度 比 較
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	
要介護 1	44	34.9	35	29.4	9
要介護 2	36	28.6	15	12.6	21
要介護 3	6	4.8	9	7.6	△ 3
要介護 4	24	19.0	42	35.3	△ 18
要介護 5	14	11.1	18	15.1	△ 4
その他	2	1.6	0	0.0	2
計	126	100.0	119	100.0	7

③要介護度別延利用者数

年 度 区 分	2 6 年 度		2 5 年 度		前年度 比 較
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	
要介護 1	224	26.8	244	34.3	△ 20
要介護 2	333	39.9	67	9.4	266
要介護 3	44	5.3	56	7.9	△ 12
要介護 4	137	16.4	251	35.3	△ 114
要介護 5	79	9.5	93	13.1	△ 14
その他	18	2.1	0	0	18
計	835	100.0	711	100.0	124

[概 要] 戸上デイサービスセンター（地域密着型 認知症対応型）

実利用者数は、126人で月平均では10.5人（前年度比7人 5.6%の増）となりました。

延利用者数では、835人（前年度比124人 14.9%の増）となりました。

介護度別延利用者（回）数では、要介護1・2では557回（前年度比246回 44.2%の増）、要介護3・4・5では、260回（前年度比140回 35.0%の減）となりました。

利用定員9人／日のところ平均利用者数は2.7人／日

(4) 訪問入浴事業所 戸上訪問入浴ステーション

①実利用者数

	2 6 年 度	2 5 年 度	前年度比較
実利用者	464	496	△ 32
月平均	38.6	41.3	△ 2.7

②要介護度別実利用者数

年 度 区 分	2 6 年 度		2 5 年 度		前年度 比 較
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	
要支援1	0	0	0	0	0
要支援2	3	0.6	0	0	3
要介護1	10	2.2	27	5.4	△ 17
要介護2	24	5.2	64	12.9	△ 40
要介護3	72	15.5	41	8.3	31
要介護4	156	33.7	178	35.9	△ 22
要介護5	186	40.0	177	35.7	9
その他	13	2.8	9	1.8	4
計	464	100.0	496	100.0	△ 32

③要介護度別延利用者数

年 度 区 分	2 6 年 度		2 5 年 度		前年度 比 較
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	
要支援1	0	0	0	0	0
要支援2	7	0.3	0	0	7
要介護1	34	1.7	97	4.4	△ 63
要介護2	85	4.0	234	10.6	△149
要介護3	274	12.9	143	6.5	131
要介護4	729	34.4	807	36.6	△ 78
要介護5	967	45.6	906	41.0	61
その他	24	1.1	21	0.9	3
計	2,120	100.0	2,208	100.0	△ 88

[概 要] 戸上訪問入浴ステーション

実利用者数は、464人で月平均では38.6人（前年度比 32人 6.5%の減）となりました。

延利用者数では、2,120人（前年度比 88人 4.2%の増）となりました。

介護度別延利用者（回）数では、介護予防の対象である要支援1・2では7回（前年度は実績なし）、要介護1・2では119回（前年度比 212回 64.1%の減）、要介護3・4・5では、1,970回（前年度比 120回 6.1%の増）となりました。

特に、要介護2の利用者が前年度比 149回（63.7%）の激減となりました。

訪問入浴事業は、事業の要件から利用者の多くが要介護3・4・5の中重度の利用が高いたなかで、要介護4で、前年度比 78回（9.7%）の減となったが、要介護3で前年度比 131回（47.9%）、要介護5で61回（6.4%）とそれぞれ増加しました。

(5) 短期入所事業所 戸倉短期入所事業所

①実利用者数

	26年度	25年度	前年度比較
実利用者	424	410	14
月平均	35.3	34.1	1.2

②要介護度別実利用者数

年 度 区 分	26年度		25年度		前年度 比 較
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	
要支援1	5	1.2	2	0.5	3
要支援2	6	1.4	4	1.0	2
要介護1	143	33.7	68	16.5	75
要介護2	80	18.9	97	23.6	△ 17
要介護3	95	22.4	105	25.6	△ 10
要介護4	52	12.3	71	17.3	△ 19
要介護5	43	10.1	61	14.9	△ 18
その他	0	0	2	0.6	△ 2
計	424	100.0	410	100.0	14

③要介護度別延利用者数

年 度 区 分	26年度		25年度		前年度 比 較
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	
要支援1	16	0.8	5	0.2	11
要支援2	15	0.7	18	0.8	△ 3
要介護1	584	27.7	251	11.8	333
要介護2	381	18.1	543	25.4	△ 162
要介護3	617	29.3	673	31.5	△ 56
要介護4	280	13.3	345	16.2	△ 65
要介護5	212	10.1	291	13.6	△ 79
その他	0	0	10	0.5	△ 10
計	2,105	100.0	2,136	100.0	△ 31

[概 要] 戸倉短期入所事業所

実利用者数は、424人で月平均では、35.3人（前年度比14人 3.4%の増）となりました。

延利用者数では、2,105人（前年度比31人 1.5%の減）となりました。

介護度別延利用者（回）数では、要支援1・2では、31回（前年度比8人 25.9%の減）要介護1・2では965回（前年度比171回 17.8%の増）、要介護3・4・5では、1,109回（前年度比200回 15.3%の減）となりました。

利用定員6人／日のところ一日の平均利用者数は 5.9人／日

(6) 戸倉上山田地域包括支援センター

①介護予防支援計画（プラン）作成者延数

区 分	要介護度別プラン作成者数				前年度比較 (人)
	26年度		25年度(参考)		
	人数	比率(%)	人数	比率(%)	
要支援1	690	34.5	600	30.9	90
要支援2	1,308	65.5	1,342	69.1	△ 34
計	1,998	100	1,942	100	56

②-1 相談事業（相談者内訳）

内 容	相談者延数(比率)		前年度比(件)
	26年度	25年度	
家 族	988 (26.7%)	1,239 (26.4%)	△ 251
本 人	1,168 (31.6%)	1,560 (33.2%)	△ 392
関係機関	1,389 (37.6%)	1,719 (36.7%)	△ 330
協力員	102 ( 2.8%)	110 ( 2.3%)	△ 8
その他	47 ( 1.3%)	66 ( 1.4%)	△ 19
計	3,694 (100.0%)	4,694(100.0%)	△ 1,000

②-2 相談内訳（重複あり）

内 訳	26年度	25年度	前年度比較(件)
予防プラン	801	1,721	△ 920
介護問題	51	59	△ 8
医療・疾病	715	1,009	△ 294
介護機器	143	143	0
家族関係	147	279	△ 132
生活住宅	1,088	1,491	△ 403
経済問題	77	89	△ 12
在宅サービス	781	1,035	△ 254
保健サービス	4	5	△ 1
施設入所	202	377	△ 175
介護保険	979	995	△ 16
地域支援事業	40	44	△ 4
居宅介護支援	82	115	△ 33
権利擁護	102	115	△ 13
虐待防止	33	46	△ 13
認知症	83	80	3
その他	76	60	16
計	5,404	7,663	△2,259



[概要] 戸倉上山田地域包括支援センター

千曲市からの委託を受け、平成23年4月に開所し、4年が経過しました。看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士、介護支援専門員の専門職を配置。戸倉上山田地域における地域包括支援事業として、介護予防(二次予防)のケアマネジメント事業として、要支援1・2の対象者に、支援計画(ケアプラン)の作成(計画の作成の一部は他の事業所に委託)を行いました。

介護予防の対象者である要支援1・2の支援計画の作成については、1,998件(月平均166件・委託分含)となり、前年度比では56件の増となりました。

また、当事業所の総合相談、支援事業につきましては、相談受付件数が3,694件となり前年度比較出は1,000件の減となりました。

相談内容については、生活住宅の相談を筆頭に、本事業所の主たる業務のひとつである介護保険、介護予防(二次予防)の相談と続き、以下、在宅サービス、医療・疾病、施設入所の順で受け付けました。

## 介護保険事業所職員体制 (参考)

27年3月31日現在

区分	事業所名	職員数	配置内訳	資格者内訳	資格者計
1	社協ヘルパーステーション	8	正規職員	(介護福祉士 2)	介護福祉士 6 (1は事務兼) ヘル2級 2
			嘱託 パート	(介護福祉士 2・うち1人は事務兼務) (介護福祉士2・ヘルパー2級 2)	
2	更埴ヘルパーセンター	10	正規職員 嘱託 臨時(常勤) パート	(介護福祉士 2) (介護福祉士 1・事務兼務) (介護福祉士 3) (介護福祉士 1 ヘルパー2級 3)	介護福祉士 7 (1は事務兼) ヘル2級 3
3	更埴デイサービスセンター	16	正規職員	(介護福祉士 2 /資格なし1)	看護師 3 介護福祉士 6 ヘル2級 5 資格なし 2 (1は事務)
			嘱託	(看護師2・介護福祉士2)	
			臨時(常勤) パート	(看護師1・介護福祉士2・ヘルパー2級 1) (ヘルパー2級 4 /資格なし1・事務)	
4	稲荷山デイサービスセンター	15	正規職員	(看護師 1・介護福祉士 2)	看護師 2 介護福祉士 8 ヘル2級 4 資格なし 1 (事務)
			嘱託	(看護師 1・介護福祉士 1)	
			臨時(常勤) パート	(介護福祉士 3 ・ヘルパー2級 2 資格なし1) (介護福祉士2・ヘルパー2級 2)	
5	戸上デイサービスセンター	23	正規職員	(介護福祉士 3・社会福祉士 1)	看護師 5 社会福祉士 1 介護福祉士 9 ヘル2級 7 資格なし 1 (事務)
			嘱託	(看護師 1・介護福祉士 1)	
			臨時(常勤) パート	(看護師2・介護福祉士3 ・ヘルパー2級 3 資格なし1) (看護師2・介護福祉士2 ・ヘルパー2級 4)	
6	地域密着型事業 戸上デイサービスセンター (認知対応型) 兼 戸倉短期入所事業所 (両事業所職員兼務)	7	正規職員	(介護福祉士 1)	看護師 2 介護福祉士 4 ヘル2級 1
			嘱託	(介護福祉士 1)	
			臨時(常勤) パート	(介護福祉士 1・ヘルパー2級 1) (看護師 2/介護福祉士 1)	
7	戸上訪問入浴ステーション	6	正規職員 嘱託 臨時 パート	(看護師 1) (看護師 1) (介護福祉士2) (看護師 2)	看護師 4 介護福祉士 2
8	社協 居宅介護支援事業所	6	正規職員	(支援専門員 1)	支援専門員 5 資格なし 1 (事務)
			嘱託 臨時(常勤) パート	(支援専門員 1) (支援専門員 1) (支援専門員 2 /資格なし1・事務)	
9	戸倉上山田居宅介護支援事業所	5	正規職員 嘱託 パート	(支援専門員 2) (支援専門員 1) (支援専門員 1/資格なし1・事務)	支援専門員 4 資格なし 1 (事務)
10	戸倉上山田地域包括支援センター	7	正規職員	(看護師 1・社会福祉士1・支援専門員1)	看護師 1 社会福祉士 1 支援専門員 4 資格なし 1 (事務)
			嘱託	(主任支援専門員1・支援専門員1)	
			臨時(常勤) パート	(支援専門員1) 事務1	
計		103	正規職員 22 非正規職員 81 (嘱託職員17、常勤臨時職員28、パート職員36)		

## 12. 受託事業

### (1) 軽度生活援助・生活管理員派遣事業（サポート・ライフ ヘルプサービス）

- ・ 軽易な日常生活上の支援・援助を行うことにより自立した生活の継続を可能にする
- とともに要介護状態への進行の防止を目的とした事業

派遣回数

①軽度生活援助事業（サポートヘルパー）	②生活管理指導員派遣事業（ライフヘルパー）
実利用者数 2 人	実利用者数 0 人
延派遣回数 74 回	延派遣回数 0 回

用語説明

#### ①軽度生活援助事業（サポートヘルパー）

日常生活や介護等に関する相談、助言が必要な高齢者の家庭、軽易な日常生活上の援助が必要な一人暮らし高齢者並びに二人暮らし高齢者家庭にヘルパーを派遣。  
原則週1回、1回あたり30分以上45分未満、45分以上1時間未満

#### ②生活管理指導員派遣事業（ライフヘルパー）

基本的な生活習慣の欠如や対人関係が成立しない高齢者等の家庭に対し、自立した生活の継続と要介護状態への進行の防止に必要な支援・指導を行う生活管理指導員としてヘルパーを派遣。

原則週2回、1回あたり30分以上1時間未満

### (2) 身体障害者訪問入浴事業

重度身体障害者に対し、戸上訪問入浴ステーションの訪問入浴車で家庭を訪問し一人あたり概ね週1回の入浴を実施。

登録者 3 人	延実施回数 159 回
---------	-------------

### (3) 家族介護者教室

高齢者を介護されている家族、施設や地域で高齢者に関わる方等を対象に介護予防、認知症予防、日常生活関連動作訓練等により健康維持の支援を目的に開催。

#### ① 「アンチエイジング! 楽しく貯筋創り」 ～筋力・基礎代謝のアップ～

- ・ 講師：ひのきの里 ヒューマン・クオーレ代表 田上 仁 氏

(スポーツプログラマー、整体師、上級トレーニング指導員)

- ・ 会場：第1回・4回 更埴文化会館 / 第2回・3回・5回更埴老人福祉センター

	期 日	内 容	参加人数
1回	8月28日(木)	楽しく体を動かそう! PART1 脚編	21
2回	9月4日(木)	〃 PART2 腕編	24
3回	9月9日(火)	〃 PART3 腰背部編	22
4回	9月18日(木)	〃 PART4 尻部編	22
5回	9月22日(月)	〃 PART5 全身編	23

計 112

② 「今日からできる！元気がでる！介護予防実践教室」

- ・講師： 健康運動指導士 牧内 隆雄 氏
- ・会場 更埴老人福祉センター

	期 日	内 容	参加人数
1回	11月11日(火)	疲れをとってココロもカラダもリフレッシュ!	42
2回	11月17日(月)	楽しく歩くためのコツとフィットケア	37
3回	11月25日(火)	簡単 筋トレでカラダをひきしめよう!	37
4回	12月 9日(火)	脳を刺激する手、指遊び	35
5回	12月15日(月)	認知症予防最新トレーニング	37

計 188人

### 1.3. 身体障害者等支援事業（社協単独事業）

(1) 身体障害者入浴サービス事業

更埴デイサービスセンターの特殊浴槽を利用し、送迎付の入浴サービスを実施。  
毎週金曜日に実施。

登録者	1 人	延利用回数	25 回
-----	-----	-------	------

(2) 身体障害者デイサービス事業

戸上デイサービスセンターを利用。一人あたり概ね週1回の利用

登録者	2 人	延利用回数	90 回
-----	-----	-------	------

(3) 貸切温泉風呂事業

千曲市戸倉地域福祉センターの温泉を引湯した個室用浴室を、身体障がい等により  
家庭での入浴が困難な方に貸し出し、温泉入浴を楽しんでいただいた。

登録者	27 人	延利用者数	80 回
-----	------	-------	------

### 1.4. 貸出事業（補助事業）

(1) 車いす貸出

高齢者、障がい者等の方に対し、車いすを貸出。

短期（3ヶ月以内）延貸出数	163件（更埴97件、戸倉・上山田66件）
---------------	-----------------------

(2) 移送自動車の貸出

高齢者、障がい者等の方に対し、車いすまたはストレッチャー（寝台）のまま乗降  
可能な福祉車両を貸出。

地 区	登録	貸出用車両の車種	延貸出回数
更埴	75	車いす乗降車両（軽車両）・シートリフト 3台	309回
		寝たきり用ストレッチャー付車両 1台	91回
戸倉・上山田	37	車いす乗降車両（軽車両） 1台	166回
		寝たきり用ストレッチャー付車両 1台	29回
計	112		595回

## 15. 実習生の受け入れ

### (1) 長野社会福祉専門学校（2学年 1人）

○介護実習：更埴デイサービスセンター 7月 8日～9日  
更埴ヘルパーセンター 7月10日

### (2) 長野県教職員経年（10年）研修（千曲市立埴生小学校教諭1名）

○介護実習：更埴デイサービスセンター 7月28日～29日/10月1日

### (3) 信州医療福祉専門学校（1学年 1人）

○介護実習：社協ヘルパーステーション 9月30日～10月1日  
戸上デイサービスセンター 10月2日～3日

### (4) 上田千曲高等学校（生活福祉課2学年2人）

○訪問介護（同行訪問実習）

・社協ヘルパーセンター10月1日～2日 1名  
・ 〃 10月7日～8日 1名

### (5) 介護労働安定センター（実務者研修受講生2名）

・社協ヘルパーステーション 11月5日  
・更埴ヘルパーセンター 〃

## 16. 職員による派遣講師

### (1) 中・高校生福祉職場PR事業（主催：県社協 福祉人材センター）

5月27日 長野県屋代南高等学校  
稲荷山デイサービスセンター渡邊所長派遣

## 17. 会議・研修

### (1) 介護保険事業所長会議の開催（毎月1回）

実施日：4月21日・5月16日・6月18日・7月18日・8月22日・  
9月16日・10月10日・11月14日・12月8日・1月21日・  
2月17日・3月18日（計12回開催）

### (2) 26年度 長野圏域介護保険事業者連絡協議会

① 定例総会、記念講演 6月23日 長野メトロポリタン

記念講演「セルフケアでワークライフ・ハピネス」

講師 NPO法人長野県キャリア&カウンセリング研究会

代表 窪田 明美 氏

- ② 第1回研修会 10月14日 長野メトロポリタン  
演題： 「自立支援型ケアプラン作成について」  
講師： 株式会社ねこの手 代表取締役 伊藤 亜紀 氏

- ③ 第2回研修会 3月6日 長野メトロポリタン  
演題： 「介護保険制度改正と介護報酬改定について」  
講師： 長野県健康福祉部介護支援課サービス係長 新井宣男氏

(3) しなのの里ゴールドプラン21推進委員会及び地域包括支援センター  
運営協議会

第1回会議 6月25日 戸倉庁舎

- 1 第1回千曲市しなのの里ゴールドプラン21推進委員会
  - (1) 平成25年度事業報告
- 2 第1回地域包括支援センター運営協議会
  - (1) 平成25年度地域包括支援センター事業報告・決算
  - (2) 平成26年度地域包括支援センター事業計画・予算

第2回会議 9月18日 戸倉庁舎

第2回千曲市しなのの里ゴールドプラン21推進委員会

- (1) 国等の通知による基本指針等について
  - 27年度介護保険制度の改正案の主な内容について
    - ①地域包括ケアシステムの構築
    - ②費用負担の公平化
- (2) 「しなのの里ゴールドプラン21」
  - 第6期計画に向けての基本的な考え方 等
    - ①6期計画において定める事項
      - ・日常生活圏の設定（千曲市で5圏域）、年度ごとの地域支援事業量見込  
保険料の設定
    - ②6期計画におけるポイント
      - ・2025年度を見据えた水準維持、在宅・施設サービスの方向性の提示、  
生活支援サービスの整備
      - ・医療、介護の連携、認知症者の早期発見

第3回会議 11月27日 戸倉庁舎

第6期しなのの里ゴールドプラン21（素案）について

第4回会議 2月20日 戸倉庁舎

第6期しなのの里ゴールドプラン21（案）について

第5回会議

1 第5回千曲市しなのの里ゴールドプラン21推進委員会

- (1) 地域密着型サービス事業所等指定更新について
- (2) 平成27年度千曲市地域密着型サービス施設等整備事業者の公募
- (3) 在宅医療・介護連携の推進の状況について

2 第2回千曲市地域包括支援センター運営協議会

- (1) 平成26年度指定介護予防支援事業ケアマネジメント業務の委託先状況

(4) 千曲市虐待防止ネットワーク会議「高齢者虐待対策部会」

第1回会議 7月30日

- ・25年度 介護者による高齢者虐待等への対応について
- ・今年度の活動について

第2回会議 3月24日

- ・千曲市成年後見制度普及啓発等推進事業の実施状況について
- ・研修会 「認知症について学ぶ ～介護の経験から～」

講師：千曲地区認知症の人と家族の会

世話人 中山 けさい氏

(認知症サポーター養成講座も兼ねる)

# 平成26年度チューリップの家事業報告

## 1. 事業の目的

障害者総合支援法に基づき、一般企業での就労が困難な障がい者を対象に、働く場を提供するとともに、一般就労等に向けた知識、能力の向上に必要な支援、訓練を行いました。

## 2. 運営の実績

(1) 就労継続支援B型 定員 20人

(2) 利用者の状況 (人)

登録利用者人数	25年度	26年度	増減
男	10	8	△2
女	8	7	△1
合計	18	15	△3

H26年度 新登録者 男性0名 女性3名 合計3名  
退所者 男性2名 女性4名 合計6名

(3) 年齢別登録人数 (人)

年齢	男	女	計
20～29	3		3
30～39	2	4	6
40～49	2		2
50～59		2	2
60～69	1		1
70歳以上		1	1
合計	8	7	15

(4) 施設の利用状況

項目	25年度	26年度	増減
開所日数(日)	268	271	3
登録人員(人)	18	15	△3
利用延人員(人)	3,214	3,001	△213
1日平均利用者数(人)	12.0	11.1	△0.9

※登録人員は3月末の時点での人数です。

(5) 喫茶営業

項目	25年度	26年度	増減
営業日数(日)	114	104	△10
来客者数(人)	2,469	2,558	89
1日平均人数(人)	21.7	24.6	2.9

※毎週水・木曜日営業(祝祭日は除く)の他、依頼に応じ臨時営業を行っています。



(6) 菓子製造・販売

項目	25年度	26年度	増減
営業日数(日)	177	194	17
来客者数(人)	1,198	1,012	△186
1日平均人数(人)	6.8	5.2	△1.6

※毎週火～金曜日営業(祝祭日は除く)

※上記人数はお菓子工房に来店いただいたお客様の人数で、出店販売や大口予約配達等は含まず。

(7) 利用者支援の実績

ア 工賃の支払い

(ア) 工賃総額 3,251,000円(25年度 3,084,620円)

(イ) 月一人当たり平均工賃 15,481円(25年度 16,465円)

(ウ) 時給 311円(25年度 298円)

イ 毎日の作業量を明示することで、情報の共有化を図り、作業への責任感や達成感を得られるよう支援しました。

ウ 千曲市保健師との連携を図り、利用者が地域での生活がしやすくなるよう支援しました。

3. 訓練内容

(1) 作業訓練

ア 自主作業

(ア) 喫茶営業(毎週水・木曜日の通常営業の外、実施している出張営業・臨時営業の実績)

① 出張喫茶

項目	25年度	26年度	増減
出張回数(回)	21	16	△5
来客人数(人)	532	358	△174
1日平均人数(人)	25.3	22.4	△2.9
前年度来客人数(人)	659	532	△127

② 臨時営業

項目	25年度	26年度	増減
営業日数(日)	5	3	△2
来客数(人)	73	37	△36

(イ) 菓子製造・販売

① 製造

- ・販売用の菓子製造。(ケーキ・クッキー)
- ・原料となる、あんずジャム、あんずのシロップ漬け等の製造。
- ・新製品の開発販売。(レアチーズケーキ4種・あんず・くるみメープル・ストロベリー・ブルーベリー、あんずクッキー、ココアボールクッキー)

② 販売

- ・毎週火～金曜日「お菓子工房ちゅーりっぷ」にて手作り菓子販売
- ・「お菓子工房ちゅーりっぷ」1周年記念セールの開催 5月13日～16日
- ・父の日感謝セール実施(クッキーとおつまみとコーヒーの箱詰め、83セットを販売)

- ・年末ギフトセットの販売（クッキーの詰め合わせ、56 セットを販売）

(ウ) その他

- ・アルミ缶回収及びプレス作業 ・小物製作 ・畑作業 ・花壇作り ・パソコン作業

イ 受託作業

- ・箱折り ・ホテル洗面用具セットの袋詰め ・ボルトとナットのセット

ウ 販売活動

① 出張販売

- ・毎週火曜日（千曲市ふれあい福祉センター、千曲市役所戸倉庁舎、戸倉地域福祉センター）
- ・毎週水曜日（千曲市更埴老人福祉センター—11月までで終了、埴生中学校…月2回位）
- ・第4週を除く毎週金曜日（千曲市役所更埴庁舎、千曲警察署、更埴ヘルパーセンター）

② 各種イベント等の出店

項目	25年度	26年度	増減
出張数(回)	22	31	9

③ 委託販売

- ・手作り小物や入浴セットの委託販売。

販売先：ふれあい広場とくべえ、坂井銘醸(株)、つるの湯、からだ工房

(2) 生活訓練

- ・清掃 1日1回毎日実施
- ・話し合い 1日1回（朝会）…作業予定、各種連絡、利用者間の連絡事項、行事予定確認等。

(3) 社会訓練

ア 施設外訓練

- ・さんさんネット企画「自然の中でマレットゴルフを楽しみましょう」（大田原マレットゴルフ場）6月7日
- ・第13回精神障がい者スポーツ交流会（ソフトバレーボール）北信地区大会・県大会（長野市・山形村）  
6月27日、9月14日

イ 施設内訓練

- ・防災・避難訓練（講師：消防署員、内容：地震・火災を想定した通報、避難誘導、消火訓練実施）  
4月22日、9月30日

(4) 研修・学習会等

- ・研修視察（グループ別に菓子製造販売、喫茶営業についての接客研修） 5月23日
- ・医師学習会 講師 篠ノ井橋病院遊木正俊院長 7月29日
- ・菓子製造販売に関する研修  
東御市「お菓子処花岡」の協力を得て菓子製造、接客、ラッピング等の研修実施 5回
- ・音楽教室 講師 夏目比呂子先生 2回

(5) 利用者主体の活動

ア メンバー会（メンバー会実行委員を中心に実施）

- ・お花見会 4/19、温泉と食事会（杏泉閣）11/8、カラオケ～日頃のストレスを発散しよう～12/6、お餅つき 1/7、S S T 2/14、買い物ツアー（アリオ）3/8

## イ ソフトバレーボールチーム

- ・練習 (21 回)
- ・6/27 北信地区大会出場 (2 勝 1 敗)、9/14 県大会出場 (1 勝 1 敗)

## 4. 就労支援

ハローワーク、長野地方事務所、長野技術専門校等と連携し、利用者に各種研修や就労先等の情報提供を随時実施。

## 5. その他の活動

### (1) 埴生中学校との交流活動

- ・新1年生が利用するエコバックのロゴプリント作業の実施と贈呈式への出席
- ・3 学年総合学習で講師として出席
- ・ソフトバレーボール、外作業を通じての定期的な交流活動 (延べ 5 回)
- ・「お菓子工房ちゅーりっぷ」の1周年記念セールのチラシやメッセージボードの製作を依頼
- ・ボランティア体験活動の受け入れ (サマーチャレンジボランティア) (延べ 31 人)
- ・おおとり祭で福祉委員会の発表として「チューリップの家」の紹介ビデオ作成上映
- ・おおとり祭で福祉委員会の発表を見学、生徒さんの協力を得て出店販売活動を実施
- ・3 学年地域教材調理実習講師として参加 (延べ 3 回)

### (2) 研修・見学受入 5カ所 51名

- ・長野市福祉ネット、茅野市ひまわりの里職員、稲荷山医療福祉センター小学部1ブロック、あけぼの会、屋代民協

### (3) 広報啓発活動

- ・「千曲市社協だより」に掲載や毎月の「チューリップの家だより」の発行
- ・お菓子工房や喫茶の紹介パンフレットの配布 通年
- ・各種行事のお知らせや当日の様子について、報道機関等を通して広報
- ・埴生中学校エコバック贈呈式にチューリップの家の作業内容を利用者が発表 4月10日
- ・お菓子工房開店1周年記念のパンフレットを埴生中学校美術部に協力いただき作成・配布 5月

## 6. ボランティアの受け入れ

- ・精神保健ボランティア[ルーラル]の皆さんの定期的なボランティア受け入れによる交流 (毎週水・木曜日喫茶厨房でのボランティア) 通年
- ・個人ボランティアの受け入れ 随時
- ・サマーチャレンジボランティアの受け入れ 延 31 人 7月28日～8月1日の間
- ・チューリップの家フェスティバルのためのボランティアとの合同会議 10月3日

## 7. 千曲市ピュアハートちくまとの連携

- ・週2日（月曜日、木曜日）にチューリップの家とピュアハートちくま間の送迎を実施し利用者の便宜を図った。
- ・ピュアハートちくまで開催された音楽教室などに送迎車を利用して希望者が参加。
- ・ピュアハートちくまの利用者がチューリップの家を訪れ、将来の通所も視野に入れながら、施設見学と喫茶での会食研修を実施。
- ・篠ノ井橋病院デイケア&ピュアハートちくま&チューリップの家交流会に参加。

理事・監事・評議員等名簿

(平成27年3月31日現在)

職名	氏名	所属団体名等	職名	氏名	所属団体名等
顧問	山本 高明	千曲市副市長	評議員	田中 照幸	埴生地区民生児童委員協議会会長
〃	北島 武重	前社協会長	〃	清水 始	稲荷山地区民生児童委員協議会会長
参与	中村 義男	千曲市健康福祉部長	〃	松岡 欣之輔	八幡地区民生児童委員協議会会長
会長	高見澤 武次	識見を有する者	〃	宮原 英夫	戸倉地区民生児童委員協議会会長
副会長	望月 照一	〃	〃	西村 昭治	屋代地区民生児童委員協議会副会長
〃	島谷 正行	〃	〃	高野 敬道	東部地区民生児童委員協議会副会長
理事	太田 登	区長会連合会副会長	〃	宮本 佳雄	上山田地区民生児童委員協議会副会長
〃	久保 武臣	〃 副会長	〃	赤地 憲一	教育委員会委員長
〃	宮島 信明	〃 副会長	〃	村松 幹男	埴生公民館長
〃	大島 剛	民生児童委員協議会会長	〃	風間 美恵子	稲荷山公民館長
〃	春日 和子	〃 副会長	〃	南澤 幸男	社会福祉協議会 森支部長
〃	瀧澤 一男	〃 副会長	〃	岩佐 松雄	〃 倉科支部長
〃	滝澤 米吉	社会福祉協議会 屋代支部長	〃	田中 幸雄	〃 稲荷山支部長
〃	飯島 誠	〃 雨宮支部長	〃	金井 幸一	〃 八幡支部長
〃	山本 正勝	〃 埴生支部長	〃	清水 隆四郎	〃 更級支部長
〃	宮城 啓	〃 戸倉支部長	〃	宮原 昭彦	〃 上山田支部長
〃	丸山 正人	〃 五加支部長	〃	柳澤 富子	ボランティア団体
〃	笠井 雪子	女性団体連絡協議会	〃	近藤 重子	〃
〃	吉川 正徳	稲荷山太陽の園園長	〃	滝沢 英雄	千曲商工会議所会頭
〃	米澤 辰男	社協事務局長	〃	清水 八重子	女性団体連絡協議会
監事	松崎 正明	識見を有する者	〃	南沢 秋子	赤十字奉仕団委員長
〃	高松 雄一	〃	〃	宮下 静雄	老人クラブ連合会長
評議員	吉田 昌弘	議会 福祉環境常任委員長	〃	湯本 康幸	身体障害者福祉協会会長
〃	唐澤 敏春	桑原西区長	〃	永田 たみ子	ひとり親あんず会長
〃	小林 俊一	杭瀬下区長	〃	宮本 ミエ子	手をつなぐ育成会長
〃	若林 博茂	代区長	〃	中村 嘉道	千曲市福祉課長
〃	平林 正弘	土口区長	〃	宮島 葉子	千曲市高齢福祉課長
〃	児玉 敏意	中町区長			
〃	高松 昌登	若宮区長			
〃	羽生田 定弘	三本木自治会長			

## 職員体制

◎職種・雇用形態別職員人数（H27.3.31 現在）

（単位：人）

雇用形態	介護保険関係	事務局関係	児童館	障がい関係	合計	割合
正規	22	16.5	0	1.5	40	24.1%
嘱託	15	5	18	4	42	25.3%
臨時	24	1	10	2	37	22.3%
パート	26	2	1	2	31	18.7%
再雇用	15	0	0	0	15	9.0%
登録ヘルパー	1	0	0	0	1	0.6%
合計	103	24.5	29	9.5	166	100%

※兼務職員は0.5人

◎人員配置（H27.3.31 現在）

（単位：人）

課名		係名	26年度		
			正規	非正規	
事務局関係	総務課	総務・施設係	2	2	
		庶務会計室	2.5	1	
	介護サービス課	介護サ係	2	0	
		地域福祉課	地域福祉係	4	2
			市民活動係	2	0
		ふれあい更埴	3	1	
	老人福祉センター		0	2	
	児童館（センター）	9館	0	29	
介護保険事業所	戸上地域包括支援センター		3	4	
	居宅介護支援事業所	更埴	1	5	
		戸上	2	3	
	ヘルパー	更埴	2	8	
		戸上	2	6	
	デイサービスセンター	更埴	3	13	
		稲荷山	3	12	
		戸上	4	19	
認知・ショート		1	6		
訪問入浴		1	5		
障害関係	チューリップの家		1.5	5	
	ピュアハートちくま		0	3	
出向	長野県社協へ出向	まいさぼ長野	1	0	
合計			40	126	

※総務課に事務局長含む

